



念じられ 照らされて

宣如上人と佐奈姫のこと

山口昭彦

毎年六月二十六日は、高山別院照蓮寺第十五代住職龍興院宣心の継室、佐奈姫(法名瑠台院宣純)の祥月日連夜の法要がされる。今年には佐奈姫の没後三百五十七年である。

近世初期の照蓮寺は高山藩主金森家の庇護のもと高山城下に移基し、東本願寺の分立にあたり、東本願寺に属した。照蓮寺第十四代宣了には、おなけという一女のみであったため、高山藩三代藩主金森重頼の息男(宣心)をおなけと添わせ後継者として迎えたが、おなけは早世してしまった。そのため、寛永十八年(一六四一年)に

継室として、東本願寺第十三代宣如上人の三女、わずか九歳の佐奈姫を迎えることとなった。宣如上人は、東本願寺を創立された教如上人の三男で慶長十九年(一六一四年)、十一歳で継職したが、その際、東本願寺内部では後継を巡って紛争が起きている。教如上人の遷化後、宣如上人を推す派と、教如上人の息女で花山院忠長に嫁した教證院が生んだ熊丸を擁立する一派で対立が生じた。最終的には宣如上人が襲職して落着いたのである。

熊丸は、徳川家康の側近、天台宗の天海大僧正の法嗣となつて得度し、法名を公海(こうかい)といひ、上野寛永寺の第二代門主となり、日光東照宮の整備に尽力した。公海は東本願寺の後継争いに巻き込まれたが、その後は宣如上人の縁者として東本願寺の外護にも尽くした。宣如上人の事績としては、御影堂を現在に近い大規模な御堂への改築を起工されたこと(明暦度の造営)と、徳川家光より新たな寺地を寄進されたことがあげられる。この新たな境内地は、『源氏物語』の主人公光源氏のモデルとされる左大臣源融の六條河原院の旧跡であるという伝承があり、造営され、石川丈山が築庭した。

宣如上人は、五撰家の一つ九條兼孝の猶子(義理の親子関係)となり、兼孝の子、九條幸家の息女成等院を正室として迎えている。佐奈姫は、この成等院の所生である。九條家は、法然上人に帰依し『選択本願念仏集』の撰述を依頼したことで知られる月輪殿九條兼実を始祖とし本願寺と縁が深かった。なお、成等院の妹、貞梁院は西本願寺第十三代良如の室となっている。

佐奈姫は宣心との間に二男一女をもうけたが、夫宣心の惹起した様々な問題による心労も重なつてか、病を得て療養のために京都へ戻つた。そして寛文七年(一六六七)六月二十七日に東本願寺の寺内で命終された。その後の照蓮寺は嫡男琢晴が第十六代を継いだ。藩主金森家の保護を頼みにして豪奢な生活を続けた。しかし元禄五年(一六九二年)、金森家が出羽国上山へ転封となつたことから、その保護を失い存立の危機を迎えることとなった。そのため琢晴は、宝永元年(一七〇四年)に照蓮寺を辞して京都へ移り東本願寺の定衆となつて式務に奉仕した。

琢晴の子で第十七代を継いでいた一乗とその弟性純の兄弟も父とともに照蓮寺を退出したため、照蓮寺は東本願寺の掛所(別院)となつたのである。佐奈姫の三十五年の生涯は、誠に苦勞の多いものであったが、短いながらも飛驒の地においてお念仏の生活を送られ、門徒たちから慕われた人生であった。そのことは今日に至るまで門徒の間で佐奈姫についての伝承が残り、追申の法要が勤修されていることからもうかがわれるであろう。また京都の雅な文化を高山の地にもたらされたことは、今に残る佐奈姫の遺品からも偲ばれるのである。



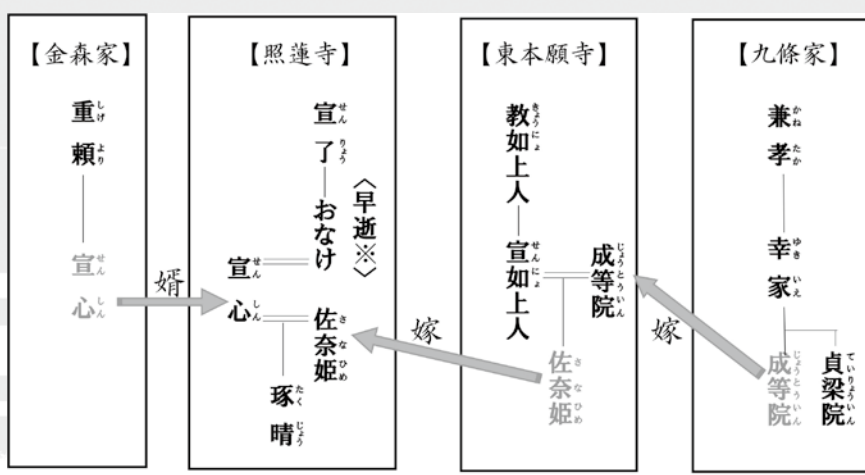
<略歴>
1961年、福井県永平寺町に生まれる。1987年、大谷大学大学院仏教文化専攻修士課程修了。その後、福井県永平寺町教育委員会文化財専門員、真宗大谷派京都教区駐在教導、大聖寺教区駐在教導などを経て、現在、東本願寺内事部嘱託。衣紋道研究員。共著に『京法衣商史』(2018年、京法衣事業協同組合)がある。

第42回 真宗公開講座 (第7回)
5月12日(日) 14時～ <参加費500円>
 講師 **三島 多聞 氏** (別院輪番)
 講題 **佐奈姫さまとお念仏**
 会場 **高山別院 御坊会館**

女性研修会
6月25日(火) 午後1時30分～ (受付午後1時～)
 講師 **不破 英明 氏** (大垣教区圓龍寺)
 会場 **高山別院 本堂** 参加費 **500円**
 ご参加のお申し込みはお手次のお寺まで <申込締切6月11日>


さなひめ
佐奈姫忌法要

日時: **6月26日(水)**
 午後1時30分から
 会場: **佐奈姫墓所・松本公民館**
 (高山市松本町)
 法話: **三島 多聞 氏** (別院輪番)

※宣心の初婚はおなけ、佐奈姫はおなけ没後の後添

<書籍のご案内>
ミニ法話集『響』
 1冊 200円(税込)
 「高山市民時報」で連載し好評を博したミニ法話「響」が冊子になりました。120回の連載の中から選り抜きの9話を収録。読みやすい法話集です。
 <執筆者>
 ・三島多聞(別院輪番) ・伊達晴香(稱讚寺坊守) ・達 顕信(元教務所員)
 ・帰雲真智(遷來寺住職) ・四衛 亮(不遠寺住職) ・白尾公信(了心寺住職)
 ・窪田 純(圓徳寺住職) ・三島大遵(真蓮寺住職) ・江馬雅臣(賢誓寺副住職)



お申し込みは高山教務所支所 (0577-32-0776) まで。

医療の現場で

「生きる」と「学ぶ」

岸上 仁

苦悩の奥底にある問い(2)

― 絶望のなかで



けるようにといます。あるいは介護の心配をされているなら、社会的な問題を解決しようと考えます。私もALSの患者さんの声に応えようと大学病院でALSの研究をしたり、仏教を学んでからも仏教の言葉でどう解決したらよいかなどと考えていました。

も崩れないのですか？あなたはそれを失って生きられますか？」と。そう問われているのに、私は外から苦悩を眺めて対象化してただけで、そもそも問題に向き合っていないのです。

いられる場面が描かれます。この「諸行無常」ということを、外のものを見てはかない、ととらえるだけではその意味がよくわかりません。はかないなら、なおさら何不自由ない王宮にいた方がいいのではないかと。しかしそうではなく、「諸行無常を知った」ということは、これまで信頼し喜んできたものが、もはや本当に信頼し喜ぶことができなくなってしまう、生きる意味への信頼を失っては生きられなくなってしまうという、人間だから抱える問題にぶつかったということだったのです。

ある筋萎縮性側索硬化症(ALS)という病気の患者さんの病室に伺ったとき、置かれたパソコンに書かれていた言葉を前にして立ち尽くしました。そこには「しにたい」と書かれていました。ALSは全身の筋肉が動かなくなる病気です。その方は眼だけでパソコンを操作して何とか意思疎通をしていたのでした。時間をかけて記されたその言葉を、いったいどう聞かなければならないのでしょうか。

しかし、あるとき私の仏教の先生に言われた言葉で、はっと立ち止まりました。「君自身はどうなんだ」と。あなた自身は、どういうことに行き詰まって生きることに苦しくなるのか。あなた自身は、苦しみの中をどう生きるのか。患者さんが問題にされていることは、私自身が生きるということの問題と、大いに関係があるのだと教えられたのです。そこには、同じく老病死をもって生きる人間すべてに対する問いかけがあったのです。「あなたは、生活の中で何を一番大事なものにしていますか？それはどんな状況で

「四門出遊」という仏教の物語には、王宮に住まわれていた若かりし日のお釈迦さまが、老病死を見て、諸行無常を知って出家して

しかしお釈迦さまはそこから歩み出しました。出家とは前に歩み出すという意味なのです。でも、絶望のなかでいったい何を信じれば前に進むことができるのでしょうか。それが問題です。そのことを引き続き確かめていきたいと思っています。

病院では例えば、それは心理的な問題だから、精神科の診察を受

見てもいいですか？それはどんな状況で

「諸行無常」ということを、外のものを見てはかない、ととらえるだけではその意味がよくわかりません。はかないなら、なおさら何不自由ない王宮にいた方がいいのではないかと。しかしそうではなく、「諸行無常を知った」ということは、これまで信頼し喜んできたものが、もはや本当に信頼し喜ぶことができなくなってしまう、生きる意味への信頼を失っては生きられなくなってしまうという、人間だから抱える問題にぶつかったということだったのです。

しかしお釈迦さまはそこから歩み出しました。出家とは前に歩み出すという意味なのです。でも、絶望のなかでいったい何を信じれば前に進むことができるのでしょうか。それが問題です。そのことを引き続き確かめていきたいと思っています。

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

- 5月 講師 細川 宗徳氏 (蓮乗寺住職)
講題 「連休でも渋滞のない「道」」
6月 講師 内記 洸氏 (往還寺副住職)
講題 「他人事で終わってしまう、恐ろしさ」

28日 親鸞聖人ご命日法座

- 5月 講師 森 恒河氏 (秋聲寺住職)
講題 「メメント・モア 父ちゃん、元気か？」
6月 講師 江馬 雅臣氏 (賢誓寺副住職)
講題 「すでに道あり」

ひだご坊



URL: https://hidagobo.jp/sermon/
5月1日から6月30日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 大泉 信吾氏 (明善寺住職)
山本 憲人氏 (寶藏寺住職)
小原 宗成氏 (圓龍寺住職)
伊達 俊幸氏 (稱讚寺住職)

大谷婦人会 定例法座

- 5月11日 (土) 講師 三島多聞 別院輪番
6月11日 (火) 講師 三島多聞 別院輪番
いずれも午後1時から

お墓のことお気軽にご相談ください お墓の「困った」を解決します

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

石のことなら ご相談・お見積り無料!!
株式会社 奥田石材 OKUDA

0577-33-9601 [本社] 高山市新宮町2498-1(新宮小学校前)
0577-32-1483 [展示場・工場] 高山市国府町上広瀬137-1

暮らしに癒しと潤いを



お仏壇



お部屋香各種 取り揃えております!

仏壇工芸 ほりお
高山市三福寺町369-7
TEL 0577-33-6686

お墓の新設 修繕



雪や凍結などで、お墓のズレ傾きなどキレイに修復します。

高山墓石店
090-7677-4883
高山市滝町1362
https://www.takayamaboseki.com/

保険タイム
〒506-0059 高山市下林町916-1
TEL 0577-35-1005

お仏壇 仏事のお悩み
LINEで簡単相談受付中
工匠館
〒506-0814 高山市滝町1362
0577-35-3038

無料体験教室実施中
学研岡本教室
対象 年中並びに小学生
ブックス・アイオー 問い合わせ先
TEL 0577-13417668

株式会社 洞く不動産
TEL 0577-5718227
不動産買取もお任せください!

慈愛・共なる灯り
高山電気工事株式会社

自主出版
山都印刷株式会社
TEL 0577-33-1495

久寿玉 KUSUDAMA
平瀬酒造店
TEL 34-0010

あなたの本、作ります。
自分史作品集など
高山市桐生町7-150-3
有限会社リプロ
TEL 0577-35-0350